復興6	令和8年度 地域課題研究ゼミナール支援事業　中間報告		
指導教員	石川県立看護大学　垣花渉	参加学生数	13
課題タイトル	スポーツの力で被災高齢者の自立を促す		
活動地域	穴水町	連携団体等	穴水町役場子育て健康課
活動概要	穴水町は、令和6年能登半島地震以降、少子高齢化がさらに加速している。高齢者の自立が不可欠であり、それを促すよう家族や行政が尽力しているが、マンパワー不足の問題がある。一方、地域の「人と人のつながり」が震災以降回復していない問題もある。地域が一体となって高齢者の健康を支える仕組みの構築は、穴水町の喫緊の課題である。このような課題に対応するため、健康に係わる研究者や専門職者が住民へヘルスケアに関する情報を適切に提供する、または健康によい行動を支援する「ヘルス・コミュニケーション」が重要となる。本研究の目的は「ヘルス・コミュニケーション」を活用した被災高齢者の健康の回復・維持・増進である。		
活動状況	5月28日(木)8名:「健康カフェ」開催の打ち合わせ(穴水町) 6月12日(金)10名:「健康カフェ」開催(穴水町) 6月21日(日)10名:町主催「健康づくり事業」参加(穴水町) 7月9日(木)8名:「健康カフェ」成果報告(看護大学) 7月25日(土)8名:「健康カフェ」成果報告(地域活性学会)		
今後の予定	8月22日(土)13名:住吉地区夏祭り支援(穴水町) 9月20日(日)8名:「健康カフェ」開催(穴水町)		

活動の写真

